

# アスパラガスとシャインマスカットの二刀流耕作

志茂地区ではアスパラガスとぶどうを栽培している高橋さんにお話を伺いました。

今回視察したほ場は最上町で初期にアスパラガスを定植したところで、父親がアスパラガスを広めた人の一人だったそうです。年間9トンを出荷していますが、今年は雹被害で収量などに影響が出たということです。

以前は水稻栽培もしていましたが、ブドウ栽培をしたかったため、アスパラガスとブドウに集中

して営農を行っているということです。

ブドウは4種類栽培しており、半分がシャインマスカットだそうです。毎年土壌分析を行っている他、葉に当たる日照時間が多いほど糖度が上がるため、主枝に15cm間隔で一房ならしているそうです。雪や害獣対策も必須で、管理を徹底すれば10～15年は収穫可能だそうです。

今後はブドウ栽培を最上町に広め、ワインにも取組んでみたいと意気込みを語っていました。



## 沢原地区中山間地域ほ場整備事業

最後に視察したのが令和6年度着工予定の農地中間管理機構関連農地整備事業の沢原地区です。地区面積は9.1haで、13戸の関係農家がありますが、事業後は2～3戸に集約することで調整を進めているそうです。

この地区は未整備水田のため、用水路、農道の維持管理も大変で、現在のままでは借受者がいないため整備要望の声があがったようです。

ほ場整備をきっかけに営農面積の拡大、高収益作物(アスパラガス、ネギ、ニラ)の導入により、新規就農者、後継者が増えることを期待しています。

